

## ■ 掲示板

### ■ 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募

公募人員：教授 1名（任期なし）

**研究分野及び研究内容：**大学共同利用機関である物質構造科学研究所（IMSS）では、放射光、中性子、ミュオン、低速陽電子を幅広くかつ横断的に利用した物質・生命科学研究を推進している。本候補者は、同研究所放射光科学研究施設（PF）の物質化学グループのグループリーダーとして、主として放射光 X 線吸収分光法や蛍光 X 線分析法を用いた物質化学研究を推進し、物構研が推進する将来光源における利用研究開拓、PF の高輝度挿入光源を用いた先端的なビームラインおよび実験手法の開発において中心的役割を担う。また、関連するビームラインおよび実験装置の性能向上および維持管理に努め、大学共同利用研究や産業利用を推進する。

**提出書類：**(1)履歴書、(2)研究歴、(3)着任後の抱負、(4)発表論文リスト、(5)論文別刷（5編以内）、(6)その他の参考資料、(7)本人に関する推薦書または参考意見書

**着任時期：**採用決定後できるだけ早い時期

**公募締切：**平成24年10月10日（水）

**書類送付先：**

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構総務部人事労務課人事第一係

**問合せ先：**

放射光科学第二研究系 足立伸一 TEL：029-864-6022

**その他：**封筒に「教員公募関係」と朱書し、郵送の場合は書留とすること

詳細は（<http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html> 公募番号：物構研12-5）を参照して下さい。

### ■ 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所教員公募

公募人員：教授 1名（任期なし）

**研究分野及び研究内容：**大学共同利用機関である物質構造科学研究所では、放射光、中性子、ミュオン、低速陽電子を幅広くかつ横断的に利用した物質・生命科学研究を推進している。本候補者は、同研究所放射光科学研究施設（PF）の生命科学グループの

グループリーダーとして、先端的構造生命科学研究を推進し、放射光 X 線結晶構造解析法や X 線小角散乱法などの構造機能解析法の高度化と支援を通じて大学共同利用研究、産業利用を推進する。また、物構研が推進する将来光源における生命科学研究分野の開拓において中心的役割を担う。

**提出書類：**(1)履歴書、(2)研究歴、(3)着任後の抱負、(4)発表論文リスト、(5)論文別刷（5編以内）、(6)その他の参考資料、(7)本人に関する推薦書または参考意見書

**着任時期：**採用決定後できるだけ早い時期

**公募締切：**平成24年10月10日（水）

**書類送付先：**

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構総務部人事労務課人事第一係

**問合せ先：**

放射光科学第二研究系 足立伸一 TEL：029-864-6022

**その他：**封筒に「教員公募関係」と朱書し、郵送の場合は書留とすること

詳細は（<http://www.kek.jp/ja/jobs/index.html> 公募番号：物構研12-6）を参照して下さい。

### ■ 平成25年度前期 高エネルギー加速器研究機構 物質 構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

**募集対象：**当施設の放射光および低速陽電子を利用する実験。主に大学等の研究者を対象としますが、科学研究費補助金の申請資格を有する企業等の基礎研究も対象となります。

**応募期限：**平成24年11月2日（金） 17時

**応募要領：**実験課題申請システム <https://pmsweb.kek.jp/k-pas/> を利用した電子申請となります。

申請受付は平成24年9月28日（金）からの予定です。

具体的な申請書作成等に関する詳細については

<http://uskek.kek.jp/apply/pf.html> を参照ください。

**その他：**研究成果は公表していただきます。

**問合せ先：**高エネルギー加速器研究機構

研究協力部研究協力課

共同利用支援室共同利用係

e-mail：kyodo1@mail.kek.jp

Tel：029-864-5126

## ■会告

### ■日本放射光学会第95回評議員会議事録

日 時：2012年7月14日(土) 14:00~16:00

場 所：理化学研究所東京連絡事務所 会議室

出席者：足立純一，足立伸一，雨宮健太，柿崎明人，籠島 靖，  
木下豊彦，木村 滋，坂田 誠，澤 博，大門 寛，  
竹田美和，谷口雅樹，野村昌治，初井宇記，平井康晴，  
宮原恒旦，百生 敦，木村洋昭（庶務幹事），唯美津木  
（会計幹事），玉作賢治（編集幹事），松田 巖（行事幹  
事），水木純一郎（会長）

欠席者：朝倉清高，大橋治彦，加藤政博，河田 洋，北村英男，  
小林克己，佐々木 聡，高田昌樹，藤森 淳，  
柳下 明，横山利彦，若槻壮市（渉外幹事），渡邊信久  
事務局：佐藤亜己奈（WORDS），西野三和子（WORDS）

#### 1. 次期評議員選挙結果

木村庶務幹事より次期評議員選挙の結果について報告があっ  
た。次期改選評議員（15名）は下記の通り決定した。  
新評議員：雨宮慶幸，石川哲也，太田俊明，岡島敏浩，  
尾嶋正治，鎌田雅夫，木村昭夫，木村真一，  
小杉信博，繁政英治，辛 埴，田中 均，  
水木純一郎，村上洋一，山本雅貴

#### 2. シニア会員について

第94回評議員会において継続審議となっていた，シニア会  
員に関する細則条文案について下記の通り提案があり，これ  
を承認した。  
尚，今年度退会者の中で下記の条件を満たす者にはシニア会  
員制度について案内をし，会員継続の意思を確認することと  
した。

(改訂前)	
細則 第1章	正会員，特別賛助会員，賛助会員および購読会 員
(改訂後)	
細則 第1章	正会員，特別賛助会員，賛助会員，シニア会員 および購読会員

(改訂前)	
細則 第1章 第3条，4条	第3条 本会に，購読会員として入会を希望 する者または団体は，所定の申込書に必要事項 を記入して事務所に提出すること。 第4条 会員の情報は会員名簿に記載し会員 はこれを閲覧できる。記載内容および記載方法 については評議委員会の承認に基づく。
(改訂後)	
細則 第1章 第3条，4条， 5条	第3条 シニア会員は65歳以上で，継続して 20年以上会員として尽力した者とし，シニア 会員籍を希望する者は事務局に申し出ること。 第4条 本会に，購読会員として入会を希望 する者または団体は，所定の申込書に必要事項 を記入して事務所に提出すること。 第5条 会員の情報は会員名簿に記載し会員 はこれを閲覧できる。記載内容および記載方法 については評議委員会の承認に基づく。

#### 3. 第17回学会奨励賞応募状況

木村庶務幹事より第17回学会奨励賞の応募状況について報  
告があった。

#### 4. JSR13の準備状況

松田行事幹事より第26回・年会・合同シンポ（JSR13）の準  
備状況（組織委員会，プログラム委員会，実行委員会，予算  
案）について説明があった。

また，第27回年会・合同シンポ（JSR14）は広島にて開催予  
定で，詳細は検討中であることを確認した。

#### 5. 第4回若手研究会準備状況

松田行事幹事より第4回若手研究会「表面電子のスピンが  
生み出す物理の最前線—ラッシュバ効果，トポロジカル絶縁体  
—」の準備状況について報告があった。開催日は2012年8  
月29日-30日，場所は東京大学山上会館大会議室。

#### 6. 第4回放射光基礎講習会準備状況

松田行事幹事より第4回放射光基礎講習会「やさしい現代  
放射光科学講座」の準備状況について報告があった。開催日  
は2012年8月3日-4日，場所は東京大学工学部52号講義室。

#### 7. AOFSSRR2012

2012年8月8日-12日にバンコクで開催される AOFSSRR  
2012について説明があった。

#### 8. ケイロンスクールの学会推薦について

ケイロンスクール事務局から，放射光学会推薦枠として最大  
8人の推薦依頼があった。はじめに JSR10-12の学生発表賞  
受賞者，その後全会員に募集をかけ，参加希望理由・英語能  
力・指導教官の推薦文等から判断し，3名の推薦者を決定し  
たとの報告があった。

#### 9. 中性子科学会との協働について

放射光と中性子は，様々な分野の学会員がユーザーとなっ  
ている。そこで，放射光学会と中性子科学会が仲人となり，他  
の学会員たちを引き合わせる「量子ビームプラットフォーム」

の形成を両学会で検討しているとの報告があった。

10. 文部科学省学術機関課「大型プロジェクトロードマップに関するアンケート調査」について

文部科学省学術機関課より大型プロジェクトロードマップに関するアンケートの依頼があり、ロードマップにおける研究計画の進捗状況について一部修正の上、回答をしたとの報告があった。

11. 放射光将来計画特別委員会報告

5月12日に放射光将来計画公開シンポジウムを開催し、東北放射光計画とKEK-ERL計画に関してヒアリングを行ったこと、学会ホームページに中間まとめを掲載したこと、学会誌2013年1月号にまとめを掲載する予定であることが報告された。また、特別委員会の位置づけ・役割について明確にし、次の評議員会において示すこととした。

12. 放射光将来光源利用サイエンス若手シンポジウムについて

新しい放射光将来光源を用いてどのようなサイエンスが展開出来るかについて、放射光若手研究者がビジョン・夢を語り合い、どのような性能をもつ将来光源が必要かについて議論を深めることを趣旨として、2012年8月18日に放射光将来光源利用サイエンス若手シンポジウムを開催するとの報告があった。

13. 編集委員会報告

玉作編集幹事より、学会誌の2色化でオンライン版の利便性を向上させるためにオンライン会誌閲覧用のパスワードをメール通知したとの報告があった。尚、メールアドレスの登録が不完全なため、再登録を呼びかける予定であるとの説明があった。

また、2色刷りとなった学会誌 Vol. 25, No. 3 の印刷費が示され、ほぼ計画通りに経費削減できたことを確認した。今後、著者がカラー印刷を希望する場合には著者負担（3万円/頁）でカラー印刷に対応するとの説明があった。

14. 「放射光ビームライン光学技術入門」の増刷について

増刷を検討していた「放射光ビームライン光学技術入門」について、以前の印刷所で増刷を行うこととなり、2013年の年明け販売開始を目標に作業を進めているとの報告があった。尚、XFELや集光など、進展のあったものに関しては増補し、広告を新たに直す。

15. 会員の入退会状況

木村庶務幹事より、第94回評議員会以降の入退会申請者に関して、入会：正会員17名（うち学生会員8名）の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員29名（うち学生会員6名）を確認した。2012年7月14日現在の総会員数は1,302名（うち学生会員109名）、名誉会員5名、

シニア会員5名、賛助会員43社（45口）。

また特別賛助会員に3団体から入会があった。（内1団体は賛助会員からの変更）

16. 協賛・後援・共催について

本学会に対する協賛・後援・共催依頼について報告があり、協賛11件、後援1件、共催1件を承認した。

17. 評議員会日程（予定）の確認

第96回評議員会 2012年10月27日（土）

場所：理研東京事務所

## ■会員異動

第95回評議員会（2012年7月14日）で承認

### 《正会員入会》

中野 和彦 JASRI/SPring-8, 利用研究促進部門, ナノ・フォレンジック・サイエンスグループ

朝倉 博行 名古屋大学シンクロトロン光研究センター

山川 晃 公財)高輝度光科学研究センター

大村 彩子 新潟大学 研究推進機構 超域学術院

船守 展正 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻

柗田 智広 佐賀大学

鈴木 茂 東北大学 多元物質科学研究所 鈴木研究室

越水 正典 東北大学大学院工学研究科応用化学専攻

佐々木大輔 東京大学大学院薬学系研究科有機合成化学教室

以上9名

### 《学生会員入会》

山本 義哉 関西学院大学理工学部物理学科水木研究室

生島 博 関西学院大学理工学部物理学科水木研究室

坂本 潤哉 関西学院大学理工学部物理学科水木研究室

山地 敦 関西学院大学 理工学部 水木研究室

松山 翔太 関西学院大学理工学部物理学科水木研究室

木戸 将吾 関西学院大学理工学部物理学科水木研究室

近藤 広基 名古屋大学大学院工学研究科曾田研究室

藤巻 義信 東北大学環境科学研究科 川田研究室

以上8名

### 《退会会員》

正会員23名, 学生会員6名

以上29名

### 《会員数》

会員1302名（内学生109名） 名誉会員5名 シニア会員5名

賛助会員43社（45口）

## ■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2012年 10/16-17	第54回 表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」	大阪大学コンベンションセンター	公益社団法人 日本表面科学会 E-mail: shomu@sss.org	25・5
11/9-11	第42回結晶成長国内会議 (NCCG-42)	九州大学筑紫キャンパス	日本結晶成長学会 E-mail: jacg@words-smile.com	25・5
12/3	第2回 文部科学省「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム	東京 秋葉原 UDX ギャラリー NEXT 4階 (NEXT-1, NEXT-3)	文部科学省, 高エネルギー加速器研究機構 E-mail: quantumbeam@ml.post.kek.jp	25・5

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

### ■第54回 表面科学基礎講座 「表面・界面分析の基礎と応用」

主 催：公益社団法人 日本表面科学会  
協 賛：日本放射光学会，他  
日 時：2012年10月16日(火)～17日(水)  
場 所：大阪大学コンベンションセンター  
参加定員：100名 (定員に達し次第締め切ります)  
受講料：表面科学会正会員：20,000円  
表面科学会維持会員：20,000円  
表面科学会賛助会員：25,000円  
協賛学協会会員：30,000円  
表面科学会学生会員：3,000円  
学生 (非会員)：5,000円  
その他：35,000円

(テキスト代，消費税を含む)

申込締切：2012年10月5日(金)  
申込方法：URL (<http://www.sssj.org/>) よりお申込み下さい。  
問合せ先：日本表面科学会  
TEL：03-3812-0266 FAX：03-3812-2897  
Email：shomu@sss.org

### ■第42回結晶成長国内会議 (NCCG-42)

主 催：日本結晶成長学会  
協 賛：日本放射光学会，他  
日 時：2012年11月9日(金)～11日(日)  
場 所：九州大学 筑紫キャンパス(福岡県春日市春日公園6-1)  
参加費：正会員5,000円 学生会員2,000円 一般15,000円  
学生非会員8,000円  
予稿集：4,000円 ※参加者には無料配布いたします。  
懇親会参加費：一般5,000円 学生2,000円(別途徴収)  
参加申込方法：  
web 受付となります。詳しくは HP をご覧下さい。

### 詳細 HP：

[http://www.jacg.jp/jacg/japanese/frame\\_main/18/nccg-42/index2012.html](http://www.jacg.jp/jacg/japanese/frame_main/18/nccg-42/index2012.html)

### 問合せ先：

日本結晶成長学会事務局  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8-507  
TEL：03-5950-4741 FAX：03-5950-1292  
E-mail：jacg@words-smile.com

### ■第2回 文部科学省「量子ビーム基盤技術開発プログラム」シンポジウム

平成24年12月3日(月)，文部科学省及び高エネルギー加速器研究機構の主催により，標記シンポジウムを開催致します。

文部科学省では、「量子ビーム」の将来性に着目し、「先端技術」のキーテクノロジーの一つと位置づけ，平成20年度より，「文部科学省量子ビーム基盤技術開発プログラム」を実施しています。このプログラムは，ネットワーク型の研究拠点を構築して，量子科学技術分野のシーズと産業界等のニーズとの融合を図り，新たな知見を創出することで，国際競争力を強化することを目的としています。

初回(平成22年2月25日開催)のシンポジウムに続き，プログラムの参加機関が一堂に会し，研究概要及び研究成果を公開することを目的として開催されます。各研究課題の代表者による研究成果報告の他に，今回は，「ポスター展」も行い，特別講演として科学技術振興機構・中村道治理事長からは，「わが国の科学技術イノベーションの展望」，東北大学・厚生教授からは，「X線画像の革新—X線の位相利用—」，大阪大学・谷村克己教授からは，「超高速物質構造科学の新展開—相対論的超短電子パルスによる時間分解構造解析—」を講演して頂きます。

大学や研究機関からの研究者，一般の方の参加をお待ちしております。

主 催：文部科学省，高エネルギー加速器研究機構  
日 時：2012年12月3日(月) 10時-18時

場 所：東京 秋葉原 UDX ギャラリー NEXT 4 階 (NEXT-1, NEXT-3)  
交 通：秋葉原駅 徒歩 2 分  
入 場：無料  
申込・問合せ先：  
量子ビーム基盤技術開発プログラムシンポジウム事務局

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1  
高エネルギー加速器研究機構 406号室・池田  
TEL 029-879-6251 FAX 029-879-6246  
E-mail : quantumbeam@ml.post.kek.jp  
※事前のお申込みをお願い致します。

### ● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 玉作賢治  
渉外幹事 若槻壮市

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr255

Password : 7aGe5pv9

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、若槻 (soichi.wakatsuki@kek.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、玉作 (tamasaku@spring8.or.jp) までお願いします。